

昭和時代へタイムスリップ

下の写真の銀色の球体が何かご存じでしょうか？実は、昭和32年に発売された「洗濯機」なのです。球体の中にお湯と洗剤を入れ、しっかりと密閉し、手で回転させて洗濯します。空気の膨張による圧力を利用して、よく汚れが落ちたそうです。それまでは洗濯板で長い時間ゴシゴシとこすってなんとか汚れを落とし、しかも冬は冷たい水の中で……と思うと、まさに革命的な開発と言えます。



昭和30年代から40年代は、洗濯機だけでなくテレビや冷蔵庫など、人々の暮らしが大きく変わった時期です。博物館では、「むかしの勉強・むかしの遊び」展を開催し、この年代を中心とした教室・居間・台所や駄菓子屋の店先を再現します。



洗濯機以外の家電の移り変わりもご覧になれます

今回は、「洗濯革命」と題して、洗濯機の変遷が分かる展示も行いますので、ぜひご覧ください。

平成最後の開催となる同展。昭和へのタイムスリップを、どうぞお楽しみください。

「むかしの勉強・むかしの遊び」展

期間：1月19日(土)～3月3日(日)

経費：入館料200円

イチゴ



「イチゴの甘さとハウスの広さがこだわり」と話すのは、「小江戸 BERRY」を運営する宮岡良和さん(上松原)。宮岡さんはイチゴを甘くするために、温度と湿度を管理し、ゆっくりと成長させて、イチゴに糖分が蓄えられるようにしています。成長を早めることで収穫量を増やすこともできますが、収穫までに時間をかけて甘いイチゴを栽培することが宮岡さんのこだわりです。

スーパーなどで販売されるイチゴは完熟する少し前に収穫することが多いようですが、新鮮で完熟したイチゴを食べてもらうため、「販売は直売

と摘み取りしか行いません」と宮岡さん。現在は、草姫と紅ほっぺの2種類のイチゴを栽培。



1,000坪の広大なハウスも宮岡さんのこだわりです

直売と摘み取り体験は、5月初旬ごろまで楽しむことができます。1,000坪の広大なハウスで、開放感のあるイチゴの摘み取りを体験してみたいかがでしょうか。詳しくは小江戸 BERRY のホームページをご確認ください。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

コマツナ・ハウレンソウ・ブロッコリー・ニンジン・サトイモ・ネギ・ダイコン・カブ・ゴボウ・ハクサイ

編集後記

どんぶり

平成最後のお正月。皆さんはどのように過ごされたでしょうか。12月8日に、

市立博物館で、子ども体験教室「お正月飾りを作るう」が行われました。体験教室では、ミニ門松を一から作製。子どもたちが真剣なまなざしで楽しんでいました。



子どもたちは持ち帰った手作りのミニ門松を飾ってお正月を迎えたのではないのでしょうか。



体験教室に参加したみんなでの記念撮影

広報川越1430

発行日/平成31年1月10日(毎月10日・25日発行)

発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
☎049-224-8811(代表) ☎049-225-2171

編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。



Fontworks
UDFont

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171